



保健医療サービス改善事業 (円借款)

事業概要

本事業は、タシケントにおける神経・脳卒中センター（Neurology and Stroke Center: NSC）の建設および医療機材整備、ブハラ国立医科大学・サマルカンド国立医科大学附属総合病院・サマルカンド国立医科大学附属小児外科専門総合センターへの高度医療機材の供与、ならびに事業実施に係るコンサルティング・サービスを実施するものである。特別条件付き円借款（STEP）の活用により、日本の先進的な医療技術を導入し、専門医療サービスの質とアクセスの向上を図る。

事業目的

神経疾患および脳卒中をはじめとする非感染性疾患（NCDs）への医療サービスの強化を目的として、神経・脳卒中センター（NSC）の建設および地方の三次医療機関における医療機材の整備を行う。

事業の概要



事業期間

2025年～2030年



対象地域

タシケント、サマルカンド、ブハラ



借款額

229.53億円



実施機関

保健省



期待される成果

- ✓ 神経疾患および脳卒中に対する診断・治療能力の向上
- ✓ 地方の三次医療機関における医療サービスの充実
- ✓ ウズベキスタンの保健医療システムの強化